

スーパーマーケットの商品のならべ方のくふう

土川 りえ

1. 調べたきっかけや理由

わたしは、家の人に買い物をたのまれて、よくスーパーマーケットに行きます。いつも、どのように商品をならべるのかが気になっていました。そこで、商品のならべ方のくふうについて、調べることにしました。

2. 調べ方

本を読んでスーパーマーケットについて調べてから、ひかりスーパーの見学をしました。また、店長の木村さんに話をうかがいました。

3. 調べて分かったこと

(1) せんでんした商品のおき方

「スーパーマーケットの仕事」という本に、「商品は、ちらしでせんでんする」と書いてあったので、まず、そのことについて木村さんに話をうかがいました。



ひかりスーパーでは、ちらしでせんでんした商品の前に、「おすすめ品」と書いたふだを立てて売っているそうです。木村さんは、「おすすめ品は、お客様がよく通る場所に、できるだけ広くおくようにして目立たせます。」とおっしゃっていました。

(2) やさいのならべ方

次に、やさい売り場でのくふうを教えてくださいました。木村さんのお話によると、売り場全体をきれいに見せるために、色のちがうやさいどうしを、横にならべているそうです。たとえば、赤いトマトの横に、緑のピーマンをならべると、色あざやかになって、やさいがおいしそうに見えます。

また、やさいは、丸ごとのやさいだけでなく、カットしたやさいもならべられています。これについて木村さんにしつもんすると、「お客様が、ひつようなりょうのやさいを、えらんで買えるようにするためです。」と話してくださいました。カットしたやさいは、切り口がきれいに見えるようにならべているとのことでした。

4. まとめ

スーパーマーケットで何気なく見ていたたなにも、一つ一つくふうがあることを知りました。とくに、おすすめ品を目立たせるために、商品をおく場所や広さを考えていることに、おどろきました。こんど、スーパーマーケットに行くときは、お店の人のくふうをさがしながら買い物をしたいと思います。